

NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能 仕様書

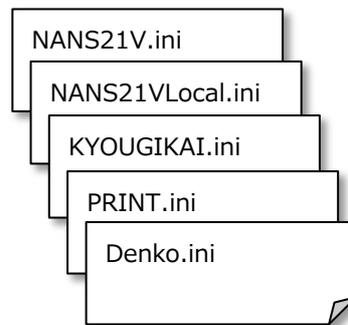
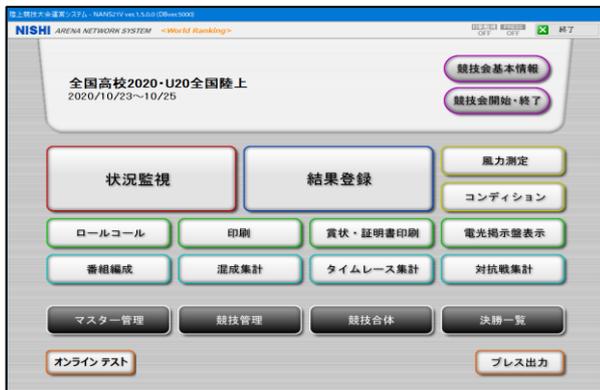
はじめに

本書では、NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能の仕様について記述します。

1. 概要

1.1. 設定ファイルに関するこれまでの仕様及び構成

NANS21Vは、5つの設定ファイル（拡張子 .ini）を読み込むことで、システムの制御（機能の有効／無効化、外部機器との接続、帳票の使用レイアウト決定などの制御）を行っています。

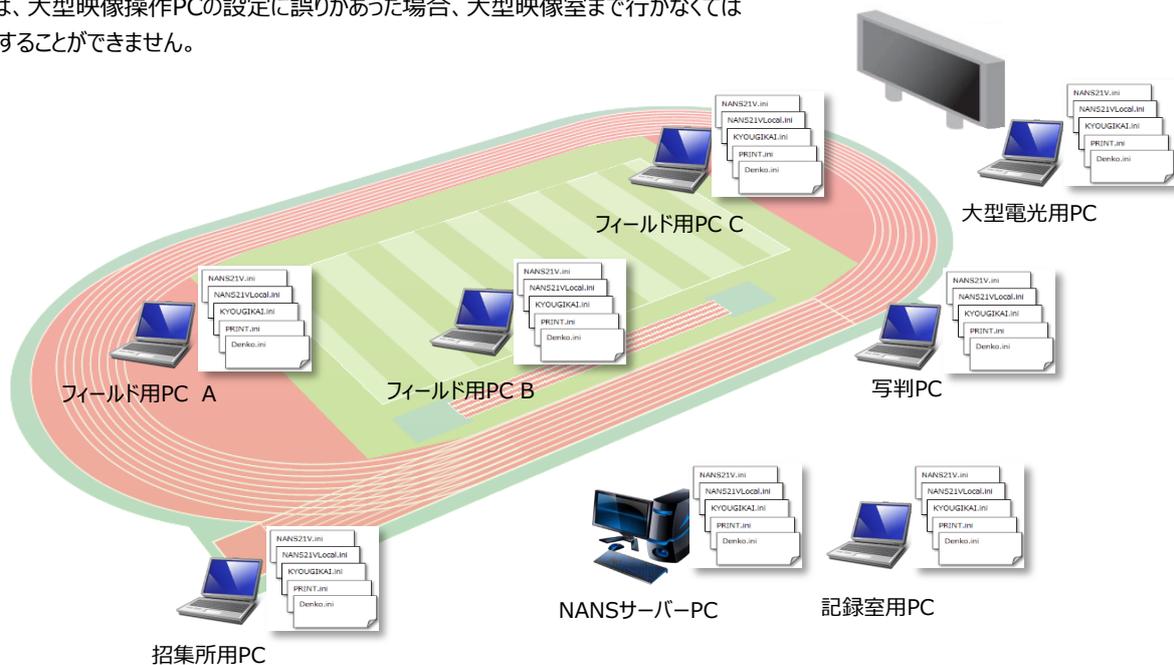


上記を踏まえて、競技場におけるNANS PCの配置構成を下図に示します。

各場所に配置するPCには、それぞれに5つの設定ファイルがあり、それぞれの場所で最適な設定内容に保存されています。

つまり、招集所用に設定されたPCをフィールドに持って行ってもそのままでは使用できません。

例えば、大型映像操作PCの設定に誤りがあった場合、大型映像室まで行かなくては修正することができません。



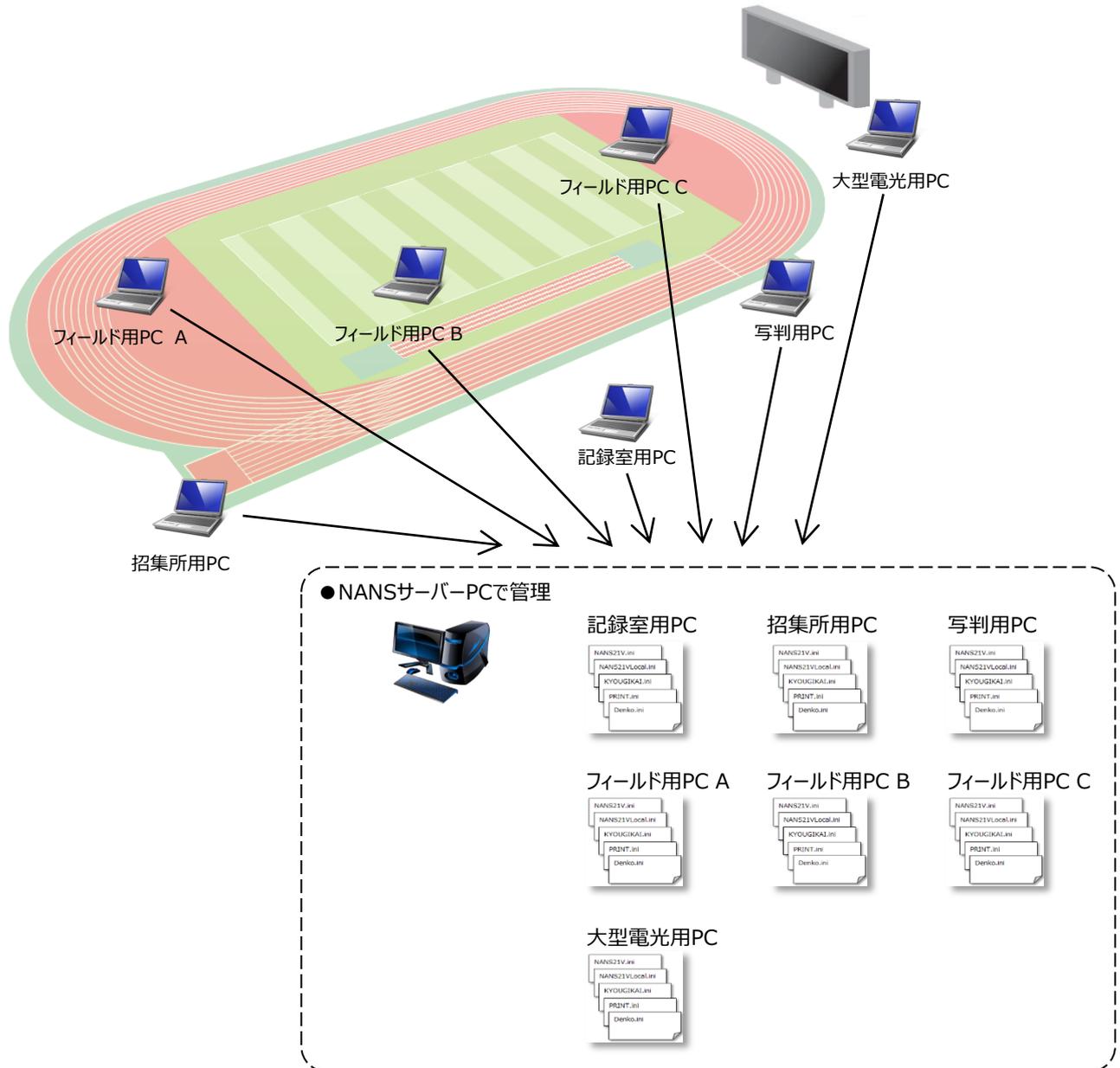
そこで、本書に示す、クライアント／設定ファイル一元化機能を搭載することで、すべての設定ファイルを記録情報室の一角で集中的に管理することで、上図で示した煩わしさを解消します。

NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能仕様書

1.2. 設定ファイル一元化 新仕様及び構成

NANSサーバーPCにて、各PCの設定ファイルを管理します。

各PCでは、NANS起動時にNANSサーバーPCに対し、自PC用の設定ファイル有無を確認し、設定ファイルを読み込みます。



名前	更新日時	種類	サイズ
NT01	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT02	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT03	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT04	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT05	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT06	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT07	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT08	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT09	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT10	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT11	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
NT12	2022/02/15 16:11	ファイル フォルダ	
MachineList.csv	2022/02/04 16:34	Microsoft Excel CS...	1 KB

管理対象のクライアントPCの設定ファイルは、左図に示す構成で、フォルダ管理されています。

★重要 注意事項★

「Management」フォルダを共有化する必要があります。
共有化の手順については、本書 9ページ「4. Managementフォルダ共有化」を参照してください。

NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能仕様書

2. NANS21V 機能追加 仕様

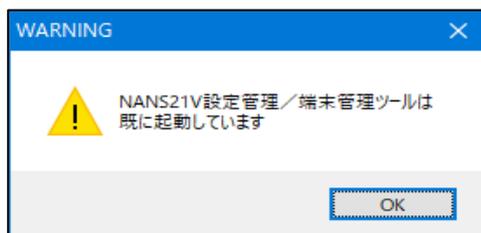
2.1. メインメニューのボタン制御について

今回、端末管理ツールを別EXEで製作していますが、NANS21Vから起動を行えるように、メインメニューにボタン追加をしています。それに伴い、「オンラインテスト」ボタンの位置を変更しています。



- 「設定管理」ボタン について
端末管理ツールを 設定管理モードで起動します。
NANSサーバーに管理されていない場合、このボタンが出現し、自PCの設定ファイルの編集が可能となります。
※ボタン表示／非表示の設定を「NANS21V.ini」に設けていますが、表示設定となっても、管理されていない場合にのみボタンが表示されます。
- 「端末管理」ボタン について
端末管理ツールを 端末管理モードで起動します。
ボタン表示／非表示の設定を「NANS21V.ini」に設けており、その表示設定に従います。
※本ボタンは、基本的に非表示設定とします。
端末管理を行いたいユーザのみ、NANSサーバーPCの「NANS21V.ini」で表示設定を行います。

なお、端末管理ツールは、多重起動できないように制御しています。



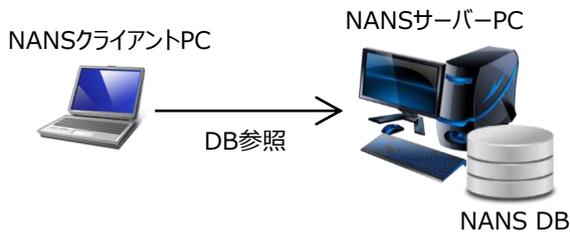
NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能仕様書

2.2. NANS21V 起動モードについて

これまで、NANS21Vの起動モードは、参照DBを示す「通常(サーバー)モード」「ローカルモード」の2種類でした。参照設定ファイルを示す「通常(管理外)モード」「管理モード」の2種類が増え、4種類のモードとなります。

●参照DBを示す 起動モード

1. 通常(サーバー)モード



2. ローカルモード



●参照設定ファイルを示す 起動モード

1. 通常(管理外)モード

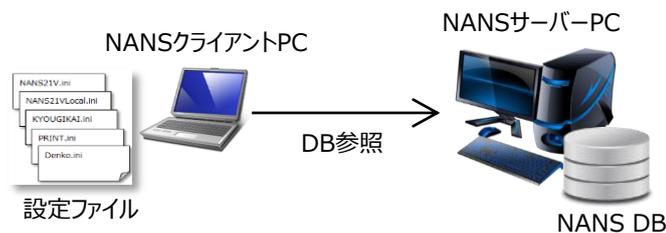


2. 管理モード

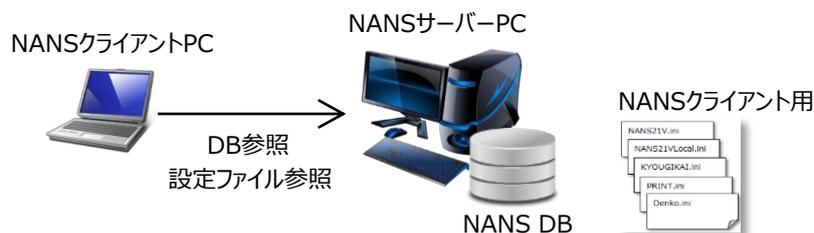


●各モードのメインメニューでの表記について

1. DB参照「通常(サーバー)モード」、設定ファイル参照「通常(管理外)モード」



2. DB参照「通常(サーバー)モード」、設定ファイル参照「管理モード」

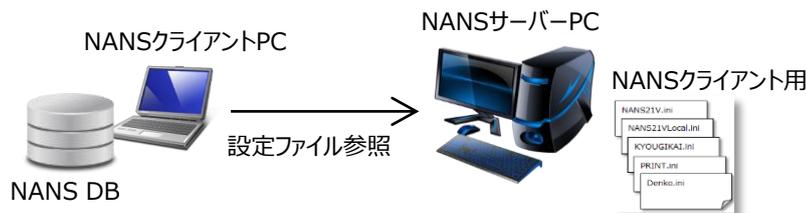


NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能仕様書

3. DB参照「ローカルモード」、設定ファイル参照「通常(管理外)モード」



4. DB参照「ローカルモード」、設定ファイル参照「管理モード」



★重要 注意事項★

端末管理機能により、各クライアントNANS PCは、NANSサーバーに保存される設定ファイルを読み込みます。

従いまして、NANSサーバーの電源がOFFであったり、ネットワークが切断されている場合は、NANSサーバーに保存される設定ファイルを読み込むことができません。

その場合、「通常(管理外)モード」で動作し、自身の設定ファイルを読み込みます。

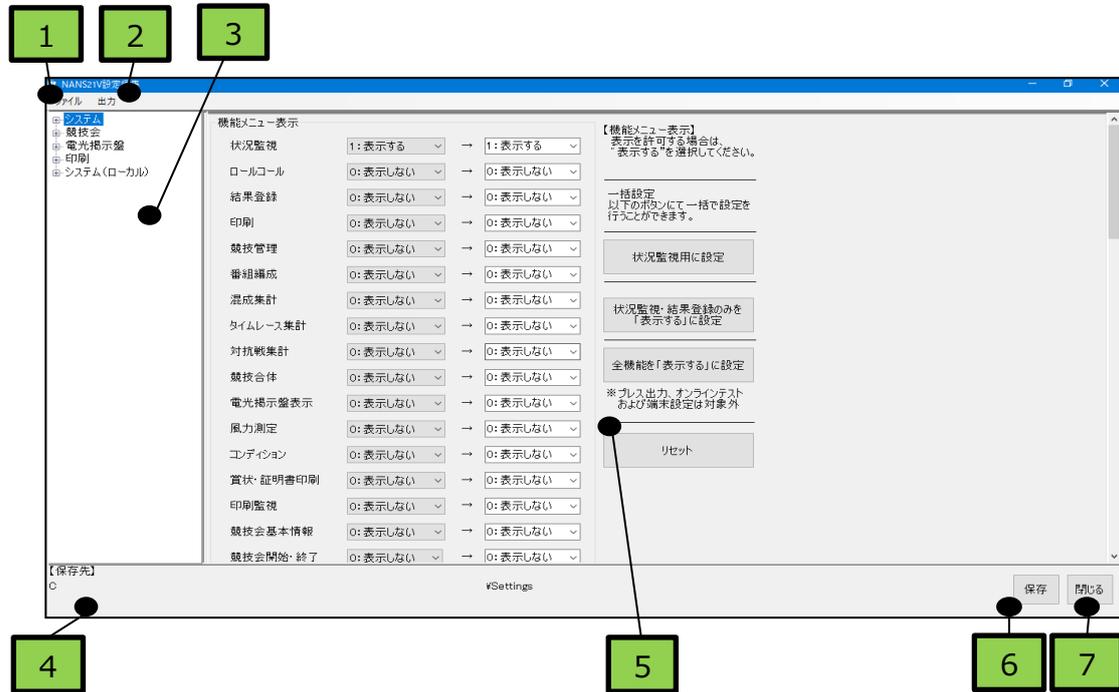
NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能仕様書

3. 端末管理ツール 仕様

NANS21Vから起動される、端末管理ツールで、設定管理モード／端末管理モードで動作します。

3.1. 設定管理モード

NANS21Vのメインメニュー画面にある「設定管理」ボタンを押下すると、下図の画面が表示されます。
この機能を用いて自端末にあるiniファイルの編集を行います。

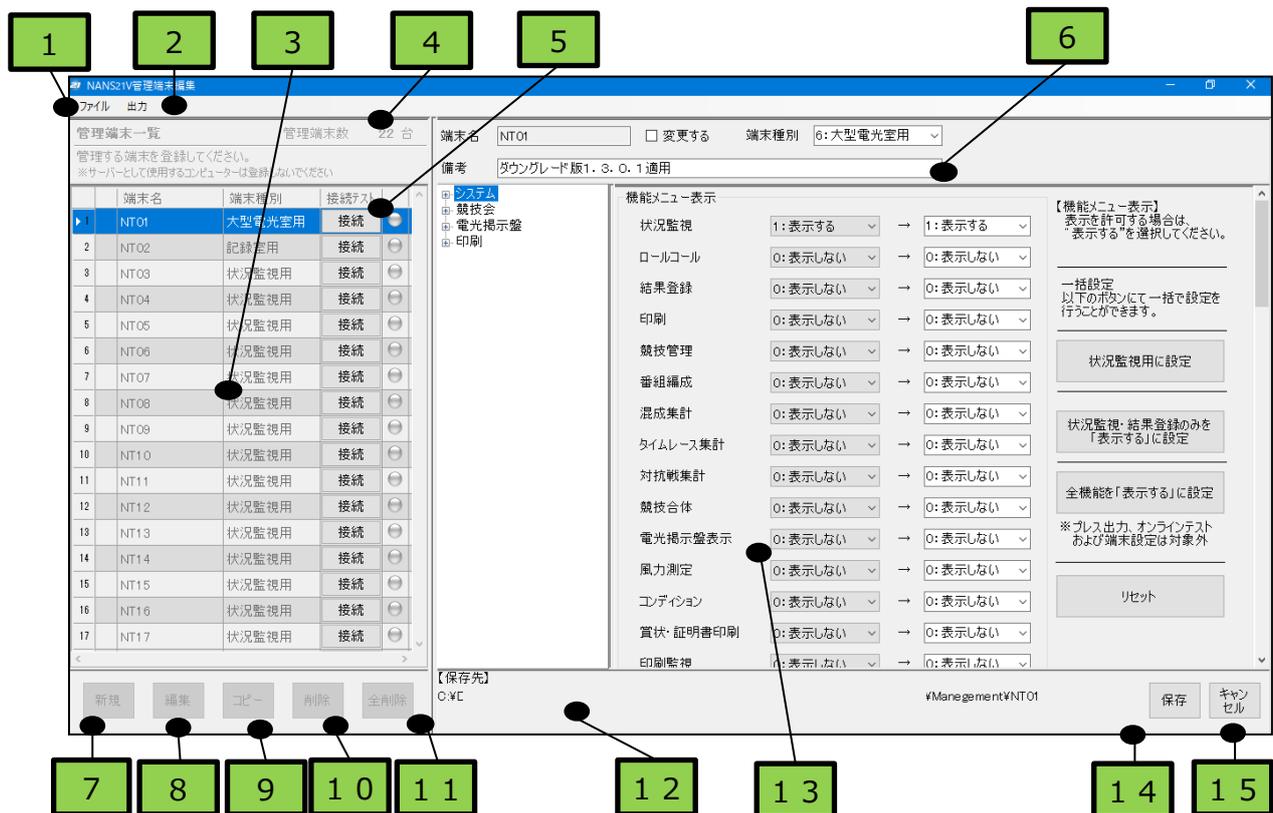


番号	名称	説明
1	ファイルメニュー	メニュー内にある「閉じる」ボタンにて画面を閉じます。
2	出力メニュー	メニュー内にある「設定内容の出力」ボタンにて、設定内容をエクセルにて出力します。
3	ツリービュー	設定編集対象をカテゴリごとにツリービュー内に表示します。
4	保存先ディレクトリ表示	設定編集している実ファイルの場所を表示します。
5	編集対象表示	ツリー内にある設定編集対象を選択することで画面右側にその内容が表示され、かつ編集が行える状態となります。
6	保存ボタン	編集した設定値を保存します。 ※編集した内容を反映させる場合は、NANS21Vを再起動する必要があります
7	閉じるボタン	画面を閉じます。

NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能仕様書

3.2. 端末管理モード

NANS21Vのトップ画面内にある「端末管理」ボタンを押下すると、下図の画面が表示されます。
この機能を用いて管理する端末とそれらに対するiniファイルの編集を行います。



番号	名称	説明
1	ファイルメニュー	メニュー内にある「閉じる」ボタンにて画面を閉じます。 メニュー内にある「管理する端末情報の復元」ボタンにて、バックアップしてある端末情報の復元を行います。 ※復元する情報はbakフォルダから任意で選択します。 メニュー内にある「管理する端末情報のバックアップ」ボタンにて、登録している端末情報のバックアップを行います。 ※復元先ディレクトリはbakフォルダ内に保存します。
2	出力メニュー	メニュー内にある「設定内容の出力」ボタンにて、選択している端末の設定内容をエクセルにて出力します。 ※端末は一覧にて複数選択可能です。 メニュー内にある「設定内容の一括出力」ボタンにて、登録したすべての端末の設定内容をエクセルにて出力します。
3	管理端末一覧	管理している端末一覧を表示します。
4	管理端末台数表示	管理している端末台数を表示します。
5	接続テスト	選択している端末と本機能を実施している端末とで、接続可能状態か否かの導通テストを行います。
6	対象端末情報表示と編集領域	「端末名」「端末種別」「備考」の編集を行います。 「備考」には最大80文字まで登録することが可能です。 ※端末名は、「変更する」チェックを付けることで編集可能となります。
7	新規ボタン	管理する端末情報の登録を行うための端末情報入力画面の表示を行います。 表示された画面にて端末情報を登録することで管理対象とすることが可能です。

NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能仕様書

8	編集ボタン	選択している端末に対する設定ファイルの情報を画面右側に表示し、かつ編集が行える状態となります。 ※画面右側にあるツリービューから右側に選択している端末情報およびそれに紐づく設定情報を表示し、かつ編集が行える状態とします。
9	コピーボタン	選択している端末名を基に新たに管理する端末情報を登録します。 ※選択している端末名に"コピー"と後ろに付与した端末名として登録します。
10	削除ボタン	選択している端末の管理対象から削除し、かつその設定ファイルの情報も削除します。 ※複数選択して削除するが可能です。
11	全削除ボタン	登録しているすべての端末を管理対象から削除し、かつその設定ファイルの情報も削除します。
12	保存先ディレクトリ表示	設定編集している実ファイルの場所を表示します。
13	編集対象表示	ツリー内にある設定編集対象を選択することで画面右側にその内容が表示され、かつ編集が行える状態となります。
14	保存ボタン	編集した設定値を保存します。 ※編集した内容を反映させる場合は、NANS21Vを再起動する必要があります
15	キャンセルボタン	編集した設定値を保存せずにキャンセルします。 また、管理端末編集状態（起動時状態）とします。

3.3. 設定状況の出力

設定内容をエクセルデータとして出力することができます。

画面内にある「設定内容の出力」ボタンを押下すると出力されます。



【出力イメージ】

1	2	3	4
NANS設定内容（印刷設定）			
端末名:			
備考:			
NANS設定内容（電光掲示）			
端末名:			
備考:			
NANS設定内容（競技会）			
端末名:			
備考:			
NANS設定内容（システム）			
端末名:	NT23 種別: 状況監視用		
備考:	出力日付: 2021/07/02 出力時刻: 16:43:12		
セクション	値	備考	
機能メニュー表示			
状況監視	1: 表示する		
ロールコール	0: 表示しない		
結果登録	0: 表示しない		
印刷	0: 表示しない		
競技管理	0: 表示しない		
番組編成	0: 表示しない		
混成集計	0: 表示しない		
対抗戦集計	0: 表示しない		
タイムレース集計	0: 表示しない		
競技合体	0: 表示しない		
電光掲示盤表示	0: 表示しない		
風力測定	0: 表示しない		
コンディション	0: 表示しない		
賞状・証明書印刷	0: 表示しない		

NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能 仕様書

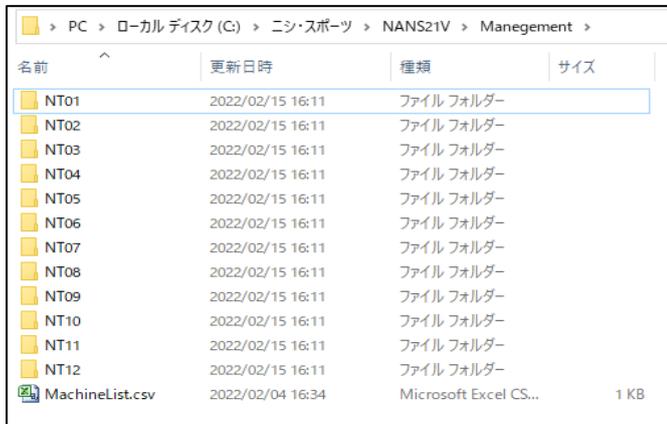
4. Manegementフォルダ 共有化

NANSサーバーPCで、端末管理の設定を行います。

この時、各クライアントの設定ファイルは、Manegementフォルダの中に保存されます。

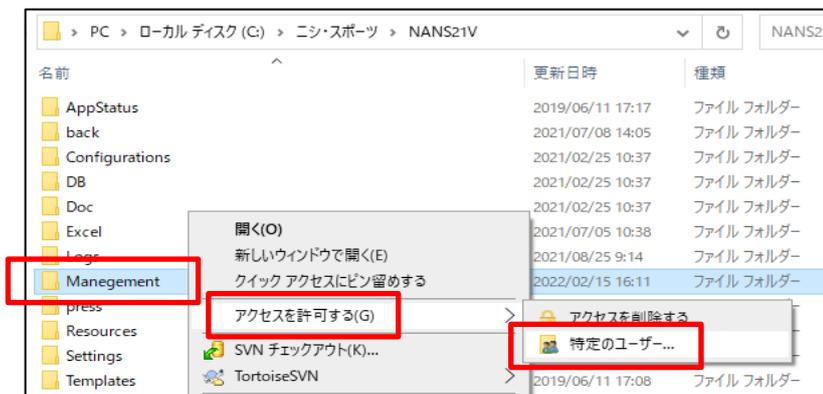
各クライアントPCから、ネットワーク越しに Manegementフォルダを参照するために、NANSサーバーPCでManegementフォルダを共有化する設定が必要となります。

Manegementフォルダは、以下の場所に配置されています。

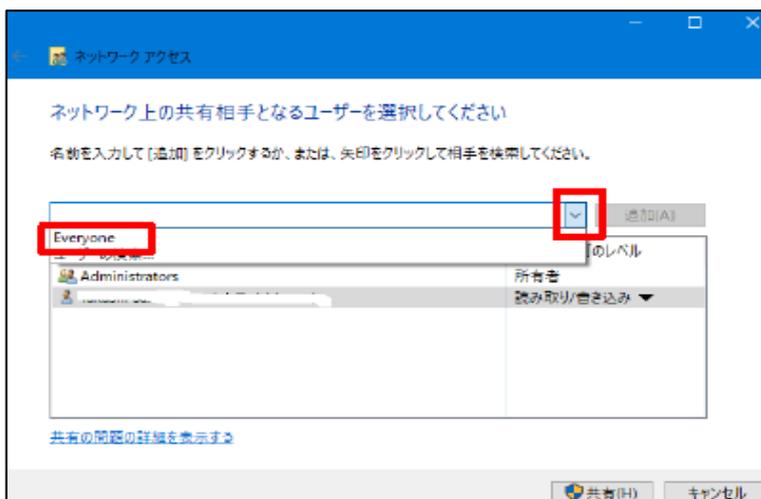


C:¥ニシ・スポーツ¥NANS21V

1. Manegementフォルダを右クリックします。
2. 表示されるメニューの「アクセスを許可する」 → 「特定のユーザー...」 を選択します。

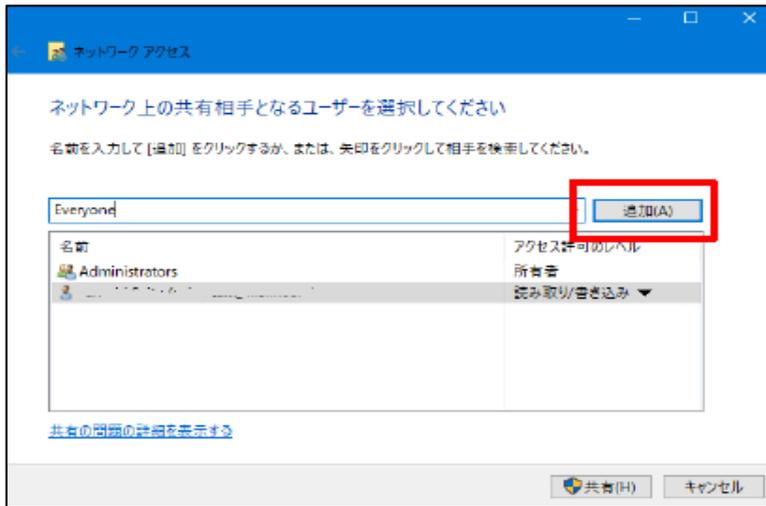


3. 赤枠の「v」ボタンを押下して、プルダウンメニューを開き、「Evreyone」を選択します。

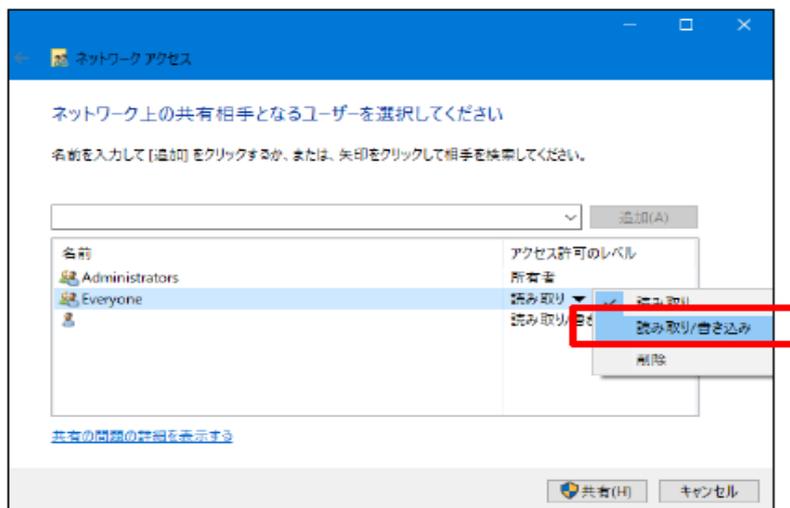


NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能 仕様書

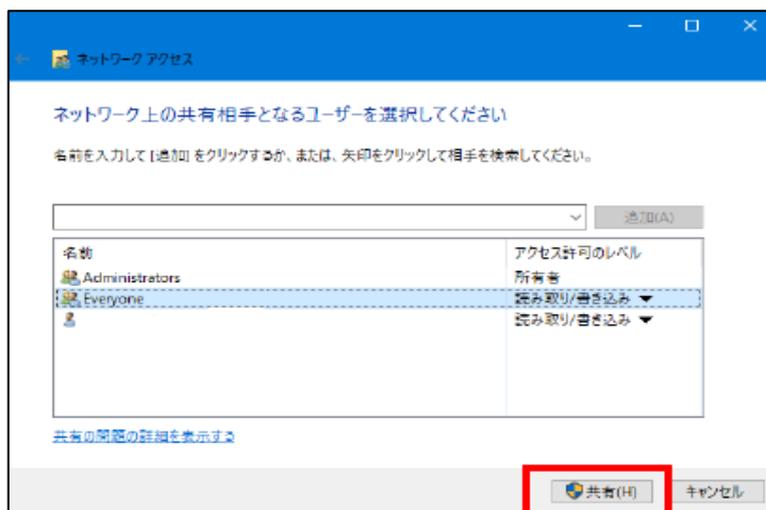
4. 「追加」ボタンを押下します。



5. 一覧に追加された「Everyone」の「アクセス許可のレベル」を右クリックして、「読み取り／書き込み」を選択します。



6. 「共有」ボタンを押下します。



NANS21V クライアント／設定ファイル一元化 機能 仕様書

7. 以下の画面が表示されることで完了です。「終了」ボタンを押下します。

